

「第3期沼津市国民健康保険データヘルス計画（案）及び第4期沼津市国民健康保険特定健康診査等実施計画（案）」に関する  
意見募集の結果について

第3期沼津市国民健康保険データヘルス計画（案）及び第4期沼津市国民健康保険特定健康診査等実施計画（案）についてパブリック・コメントを実施したところ、ご意見をいただきましたので、下記のとおり意見の内容及び市の考え方・対応をお示しします。

1. パブリック・コメント実施状況

- 実施期間：令和6年1月24日（水）～令和6年2月22日（木）まで
- 閲覧場所：市ホームページ、市役所（国民健康保険課、生活安心課）、市内各市民窓口事務所、保健センター（健康づくり課）、市立図書館
- 提出者数：1名
- 意見数：67件

2. 提出された意見の内容及び市の考え方

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
1	2	目次 第2部 第4章 その他のうち「4. 他の健診との連携」とありますが、下線部は、本論中（101ページ）では「 <u>検（健）診</u> 」となっており、不整合が生じていますので、整合を図ってください。	ご指摘のとおり、整合を図るため、目次の表記を「4. 他の <u>検（健）診</u> との連携」に修正します。	有
2	3	はじめにの本文中2行目に「またそのためには」とありますが、「また、そのためには」のように「読点」を入れるほうが適切ではないかと考えます。	ご指摘のとおり、読みやすい表記とするため、本文中2行目を「また、そのためには」と「読点」を入れ修正します。	有
3	5	（1）背景の本文中4行目に「またこれを受け」とありますが、「また、これを受け」のように「読点」を入れるほうが適切ではないかと考えます。	ご指摘のとおり、読みやすい表記とするため、本文中4行目を「また、これを受け」と「読点」を入れ修正します。	有
4	9	①人口構成概要（令和4年度） ①項目見出し及び表見出しが「人口構成概要（令和4年度）」となっていますが、令和4年度のいつの時点なのかを明確にすべきと考えます。表中の各項目の数値がすべて令和4年度末のものであれば、見出し（項目及び表）の記載を「人口構成概要（令和4年度末）」に修正し、複数の時点の数値が混在しているのであれば、表欄外下段に、複数の時点の表記をすべきと考えます。 ②表中「出生率」及び「死亡率」について、「単位」の表記がないことから、単位を記載すべきと考えます。	①令和4年度累計の値となるため、表見出し及び資料の記載を「人口構成概要（令和4年度累計）」と修正します。時点については、異なる時点が存在するため、各々の時点を表記いたします。 ②表中の「出生率」及び「死亡率」については、人口1000人対の出生数・死亡数を表すものであるため、単位という形での記載はしていませんでした。本計画において、データの読み取りを行っていないため、「出生率」及び「死亡率」については削除することとします。	有
5	10	③年度別・人口構成概要 ①項目見出しが「年度別・人口構成概要」となっていますが、「・（中点）」は削除すべきと考えます。理由としては、年度別とその後の言葉が並列関係にあるわけではなく、年度別は、その後の人口構成概要の修飾語としてかかっているものであるため、「・（中点）」を削除して連続して記載すべきと考えます。 ②本文中、「<前略> 国保被保険者数は減少とともに、国保加入率も減少しています。<以下略>」とありますが、下線部の書き方だと、「国保被保険者数」についての説明として、「減少」とともに、それ以外の何らかの内容（傾向等）の説明が必要となりますが、「とともに」の後は、「国保加入率」の説明に切り替わっています。そこで、ここでの記載として、「国保被保険者数・国保加入率ともに減少しています。」としたらどうでしょうか。	①ご指摘のとおり、正しい表記とするため、項目見出しについて「 <b>年度別人口構成概要</b> 」と中点を削除し記載します。 ②ご指摘のとおり、本文1行目から2行目にかけて「 <b>国保被保険者数・国保加入率ともに減少</b> しています。」と修正します。	有
6	11	④人口の将来推計値 ①本文1行目中に「令和27年（2045年）頃には」とありますが、将来推計の説明において「頃」という表記はしないと考えますので、「頃」は削除するほうが適切ではないですか。 ②表中の単位の表記（左上）として、「（単位：千人）」となっていますが、「（単位：人）」が正しいので修正が必要です。	①ご指摘のとおり、適切な表記とするため、本文1行目について「令和27年（2045年） <u>には</u> 」と修正し、「頃」を削除します。 ②ご指摘のとおり、正しい表記とするため、表中の単位の表記（左上）は、「（単位： <u>人</u> ）」に修正します。	有
7	12	①要介護（支援）認定状況 ①本文1行目中に「 <u>1号被保険者</u> 」とありますが、「 <u>第1号被保険者</u> 」が正しいと考えます。 ②表として「要介護（支援）認定率（令和4年度）」及び表・グラフとして「年度別要介護（支援）認定率」を掲載していますが、「時点」を明確に表記すべき（例えば、年度末であるならば、それを明記すべき）と考えます。 ③1番下に、表・グラフとして「要介護度別一件当たり介護給付費（令和4年度）」とありますが、下線部は「 <u>保険給付費</u> 」に修正すべきと考えます。「介護給付費」（要介護者に係る給付費）と「予防給付費」（要支援者に係る給付費）を合わせて、介護保険全体の給付費としての「 <u>保険給付費</u> 」となります。	①ご指摘のとおり、本文1行目を「 <b>第1号被保険者</b> 」と修正します。 ②「年度別要介護（支援）認定率」については令和4年度内の月平均を算出した値となります。説明を表記いたします。 ③ご指摘のとおり、下部の表・グラフのタイトル及び本文2行目にある「要介護度別一件当たり介護給付費」の表記を、「要介護度別一件当たり <b>保険給付費</b> 」に修正します。	有
8	22	細小分類別疾患上位10疾病、標準化比（対県）の表中において、「疾病別医療費」及び「医療費割合」の項について、「単位」の表記がないことから、円・%などの単位を記載する必要があります。	ご指摘のとおり、表（細小分類別疾患上位10疾病、標準化比（対県））中の「疾病別医療費」及び「医療費割合」の項について単位を表記し、「疾病別医療費（ <u>円</u> ）」及び「医療費割合（ <u>%</u> ）」に修正します。	有
9	25	②高額レセプトの疾病傾向 本文1行目中「 <u>いずれの年も</u> 」とありますが、表の数値が年度別の患者数・医療費となっていることから、下線部は、「年」を「年度」に改めるのが適切と考えます。	ご指摘のとおり、本文1行目を「 <u>いずれの年度も</u> 」と修正します。	有
10	27	②生活習慣病疾病別医療費統計 ①項目見出しが「②生活習慣病疾病別医療費統計」とありますが、26ページの①と本ページの②の見出しが、両方とも「生活習慣病疾病別医療費統計」となっています。しかし、内容が異なるものであることから、例えば、①生活習慣病疾病別医療費統計（年度別）、②生活習慣病疾病別医療費統計（令和4年度）のように、両者の記載内容が異なるものであることから、何らかの差異を設けるべきと考えます。 ②上段のグラフ中、右側の疾病名と金額の文字が重なってしまっているので、修正が必要です。 ③下段のグラフ中の、3種類の区分の被保険者数の合計は47,824人となりますが、9ページの40,310人、10ページの41,305人のいずれとも合っておりませんが、それぞれ時点が異なるのでしょうか？	①ご指摘のとおり、正しく区別するため、26ページの項目見出しを「① <b>年度別</b> 生活習慣病疾病別医療費統計」とし、本文1行目についても「 <b>年度別</b> 生活習慣病疾病別医療費統計をみると、」と修正します。27ページの項目見出しについては「② <b>生活習慣病医療費及び患者の状況</b> 」と修正します。 ②ご指摘のとおり、上段のグラフ中、文字の位置を調整し重ならないよう修正します。 ③下段のグラフ中の、被保険者数の合計（47,824人）については、令和4年度中、各月、1日でも資格がある被保険者を集計しています。他の被保険者数については、時点が限定されているため人数が一致していません。9ページ及び10ページの各時点を追記します。	有

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
11	30～32	地区別患者一人当たりの医療費・受診率（令和4年度のグラフ中の、「受診率」の数値については、100%を超えているものも多数見られますが、どのような計算式で算出されたものかわからないので、欄外などに補足説明が必要だと考えます。	受診率は、レセプト件数を被保険者数で割り、算出した数値であり、被保険者が一定期間に医療機関にどのくらい受診したかを示す指標ですが、ご指摘のとおり、わかりやすい表記とするため、「一人当たりの受診件数」と表記を変え、補足説明を追加します。	有
12	33	本文中1番下の行において「女性では45～49歳・65～74歳で高いです」とありますが、計画書中の表記としては、下線部は「高くなっています」のほうが適切と考えます。	ご指摘のとおり、本文5行目について「女性では45～49歳・65～74歳で高くなっています。」と修正します。	有
13	37	①本文中「令和4年度における本市の被保険者に占める透析患者の割合は、0.58%で県・国の値よりも高いです。年度別透析患者数及び医療費をみると、患者一人当たりの透析医療費が上昇しています。」とありますが、「令和4年度における本市の被保険者に占める透析患者の割合は0.58%で、県・国の値よりも高くなっています。年度別透析患者数及び医療費をみると、患者一人当たりの透析医療費が増加しています。」のほうが適切ではないでしょうか。一つ目は読点の位置、二つ目はNo.12と同じ、三つ目は、金額なので上昇よりも増加が一般的な表記だと考えます。 ②グラフ（年度別透析患者数及び医療費）中において、単位の表記が左右どちらも同じ「（単位：千円）」であることから、左側には「透析医療費」、右側には「患者一人当たりの透析医療費」という文言を追記したほうがわかりやすいと考えます。	①ご指摘のとおり、本文1行目から2行目にかけてを「令和4年度における本市の被保険者に占める透析患者の割合は0.58%で、県・国の値よりも高くなっています。年度別透析患者数及び医療費をみると、患者一人当たりの透析医療費が増加しています。」に修正します。 ②ご指摘のとおり、グラフ（年度別透析患者数及び医療費）中の単位の表記について、わかりやすい表記とするため、左側には「透析医療費」、右側には「患者一人当たりの透析医療費」を追記修正します。	有
14	38	本文1行目中「令和4年度における本市の透析患者数数は276人」とあります。「数」が重複しているため、一つ削除してください。次に、令和4年度の透析患者数は、前ページでは232人となっていますが、本ページの276人との相違は何でしょうか。抽出条件が異なるのであれば、補足説明が必要だと考えます。	本文1行目について、「令和4年度における本市の透析患者数は276人で」と修正します。 令和4年度の透析患者数は、KDBシステムでは、令和4年度累計の数値であり、令和5年度3月末時点の透析患者数となります。 レセプトデータについては、令和4年度中の全レセプトから透析患者を集計しているため、年度内に資格喪失した患者や治療を中止した患者についても含まれることから、人数が一致していません。 ご指摘のとおり、補足説明を追加いたします。 37ページの補足：※透析患者数…KDBシステムから、令和5年3月末時点の透析患者数を集計。 38ページの補足：※透析患者数…レセプトデータから、令和4年度内の透析患者の実人数を集計。	有
15	39	①本文中2行目後半から「＜前略＞高血圧の順に多いです。頻回受診の要因となっている疾患は、統合失調症やうつ病といった精神及び行動の障害が多いです。また、変形性膝関節症や変形性脊椎症といった筋骨格及び結合組織の疾患も多です。重複服薬の要因となっている医薬品は、催眠鎮静剤や高脂血症のための医薬品が多いです。」とあり、No.12と同様に、「多いです」は「多くなっています」のほうが適切と考えます。しかし、近接した4箇所で同じ表現が使用されていることから、少し表現を工夫して、例えば「＜前略＞高血圧の順となっています。頻回受診の要因となっている疾患は、統合失調症やうつ病といった精神及び行動の障害が多く、また、変形性膝関節症や変形性脊椎症といった筋骨格及び結合組織の疾患も多くなっています。重複服薬の要因となっている医薬品は、催眠鎮静剤や高血圧症のための医薬品が多くなっています。」のような書き方ではいかがでしょうか。ただ、「変形性脊椎症」（4.0%）よりも「腰椎椎間板ヘルニア」（4.4%）のほうが多いのですが、多い方を例示として使わないのですか？ ②1番上の表（重複疾患の要因となっている疾患（件数上位5位））中の、分類の項の4番目に「特殊目的コード」とあります。システム上の分類ではこうなっているかもしれませんが、これでは全くわからないので、いずれかの分類名を記載したほうが良いと考えます。既存の分類の中で合致するものがどうしてもないのであれば、まだ「その他」のほうが良いのではないかと考えます。 ③1番下の表（重複服薬の要因となっている疾患（件数上位5位））中の、項目名の記載において「薬品名※」とありますが、欄外の「※」は、重複服薬者数の説明となっていますので、薬品名の後の「※」については、ご確認のうえ、削除する、または、補足説明を入れるなど、ご確認ください。	①ご指摘のとおり、本文中2行目後半から「＜前略＞高血圧症の順となつています。頻回受診の要因となっている疾患は、統合失調症やうつ病等の精神及び行動の障害が多く、また、変形性膝関節症等の筋骨格及び結合組織の疾患も多くなっています。重複服薬の要因となっている医薬品は、催眠鎮静剤や高脂血症のための医薬品が多くなっています。」と修正します。 ②「特殊目的コード」とは厚生労働省「疾病、傷害及び死因の統計分類」にて、疾病分類の定義として設定しているコードであるため、そのままの表記が適切と考えられるため、現行のままとし、欄外に補足の説明を追加します。 ※特殊目的コードとは、新しい疾患等に暫定的に使用されるコード。 ③お見込みのとおり、1番下の表（重複服薬の要因となっている疾患（件数上位5位））中の、「薬品名」の項目について「※」は不要であるため、「※」を削除します。	有
16	40	1番下の表（Ⅲ.優先順位）中の1番下の行において、「効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数」とありますが、同表の上の部分においては、「候補者Aから候補者Dまで」しかありませんが、E・Fはどうなっているのでしょうか。	ご指摘のとおり、1番下の表（Ⅲ.優先順位）中の1番下の行について、候補者E・Fは候補者とし不在304人に含まれています。「候補者Aから候補者Dまで」が正しいため、「効果が高く効率の良い候補者A～候補者Dの患者数」と修正します。	有
17	43	本文1番下の行中、「女性に比べて男性の特定健康診査受診率は約9ポイント低く推移しています」とありますが、「男性の特定健康診査受診率は、女性に比べて約9ポイント低く推移しています」のほうが良いと思います。	ご指摘のとおり、わかりやすい表現とするため、本文4行目を「男性の特定健康診査受診率は、女性に比べて約9ポイント低く推移しています」と修正します。	有
18	47	上段のグラフ・表が「有所見者割合（令和4年度）」で、下段のグラフ・表が「年度別有所見者割合」となっていますが、上段の表中の沼津市の数値は、下段の表中の（令和4年度ではなく）令和2年度の数値と一致しています。ご確認いただき、もし上段のグラフ・表中の数値を変更するのであれば、本文中の記載内容も変わってくるので、合わせて修正してください。	ご指摘のとおり、上段のグラフ・表中の数値が令和2年度の数値となっていたため令和4年度数値に修正します。それに伴い、本文の1行目から2行目にかけての記載を修正します。	有
19	48	（No.12と同様）本文2行目中において「県の値よりも高いです」とありますが、下線部は「高くなっています」のほうが適切と考えます。	ご指摘のとおり、適切な表現とするため、「高くなっています。」と修正します。	有
20	49	①本文中「令和4年度における本市の特定健康診査受診有無別の一件当たり医療費をみると、健診未受診者は、健診受診者に比べて一件当たり医療費が1.76倍となっています。」とありますが、「一件当たり医療費」が近接して2回使用されていることから、少し整理して、例えば、「特定健康診査受診有無別に本市の令和4年度的一件当たり医療費を比較してみると、健診未受診者は、健診受診者の1.76倍となっています。」ではいかがでしょうか。 ②下段グラフの下部欄外に「※一件当たり医療費…1カ月分相当」とありますが、これは「一医療機関での1カ月分の医療費」という意味でしょうか。もし、複数の医療機関を利用している場合は、その平均値ということでしょうか。	①ご指摘のとおり、わかりやすい表現とするため、「特定健康診査受診有無別に本市の令和4年度的一件当たり医療費を比較してみると、健診未受診者は、健診受診者の（略）」と修正します。 ②一件当たり医療費とは、「レセプト一件当たり医療費」のことです。そして、「1カ月分相当」とは、全被保険者のひと月当たりの医療費をひと月当たりのレセプト発行枚数で除して計算しています。同一医療機関を受診していても入院と入院外とは異なるレセプトになるため、必ずしも一医療機関あたりとは限りません。	有

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
21	50	①本文1行目中「令和4年度の特定保健指導の実施率は、33.6%で、<以下略>」とありますが、実施主体が「市」であると考え、実施率はなぜこんなに低いのでしょうか？また、下線部の表記は、「実施率は33.6%で」（読点は不要）でいいと考えます。本文2行目から「積極的支援対象者数割合」とありますが、下線部は「対象者割合」が適切と考えます。 ②下段のグラフ・表のタイトル（の一部）及び単位表示として「対象者数割合」とありますが、「対象者割合」が適切と考えます。 ③上段・下段のグラフ・表の下部欄外に「※県の値は市町計の数値」とありますが、ここでの県の値は「割合（実施率・対象者割合）」なので、市町「計」ではないと考えます。例えば、「対象者数（市町計）に対する実施者数（市町計）の割合」とか、「実施者数（市町計）／対象者数（市町計）×100」のような表記になるのではないかと考えます。この下線部と同じ表記は、次ページ以降でも使われています。	①対象者全てに特定保健指導の案内通知を郵送し、特定保健指導の利用を促していますが、自発的な申し込みが少ない状況です。考えられるのが、特定保健指導のPR不足や通知での利用動機不足が考えられます。特定健康診査を受けるのみならず、その後の特定保健指導まで受ける必要があるという意識を高めていくことも必要と感じています。 ご指摘のとおり、本文1行目から読点を削除し、「 <b>実施率は33.6%で</b> 」と修正します。本文2行目の対象者数割合の表記についても「 <b>対象者割合</b> 」に修正します。 ②わかりやすい表記とするため、「 <b>対象者割合</b> 」に修正します。 ③「※県の値は市町計の数値」については、県の値が他健康保険組合を含まないという意味で注釈をしましたが、ご指摘のとおり、わかりやすい表記とするため、「 <b>対象者数（市町計）に対する実施者数（市町計）の割合</b> 」に修正します。	有
22	51	グラフ・表のタイトル（の一部）及び単位表示として「対象者数割合」とありますが、「対象者割合」が適切と考えます。	わかりやすい表記とするため、「 <b>対象者割合</b> 」に修正します。	有
23	52	本文中2行目から「いずれのがん検診についても、令和5年度末の目標である受診率50.0%には届いていません。」とあり、グラフは「年度別各種がん健診受診率」として、令和2年度から令和4年度の受診率の推移を図示しています。下線部は、令和5年度で間違いはないでしょうか？（令和5年度は現在進行中だと思えます）	各がん検診受診率については、当該年度の目標値は定めておらず、令和5年度の最終目標のみとなります。そのため、「令和5年度末の目標」で間違いありません。現行のままとします。	無
24	53	（No.12と同様）本文2行目後半から「子宮頸がん検診は、45～49歳の受診率が最も高いです。乳がん検診は、70～74歳の受診率が最も高く、次いで45～49歳の受診率が高いです。」とありますが、下線部2か所は「高くなっています」のほうが適切と考えます。	適切な表現とするため、「 <b>高くなっています</b> 」と修正します。	有
25	56	①項目名称が「第2期データヘルス計画における評価と見直し」となっていますが、本ページにおいては、「評価」の記載はあるものの、下線部の「見直し」についての記載はないことから、項目名称は「第2期データヘルス計画における評価」でいいのではないのでしょうか。 ②本ページ下部、下から2行目から「特に、高血圧者の割合が増加しています。中・長期目標については、いずれの指標も増加しています。特に、糖尿病の罹患割合が増加傾向にあります。」とあります。文章において「増加」という表現を使用していますが、「人数」や「金額」の場合には「増加」を使い、「割合」の場合は、「増加」ではなく「上昇」を使うのが一般的だと考えます。また、「特に」に対しては、さらに「大きく」などの言葉を付け加える必要があると思います。そこで、例えば、「特に、高血圧者の割合が <b>大きく上昇</b> しています。また、中・長期目標については、いずれの指標も <b>上昇</b> しています。特に、糖尿病の罹患割合の <b>上昇傾向が顕著</b> であります。」などの書き方ではいかがでしょうか。	①ご指摘のとおり、見直しの記載を含まないため、項目名称を「 <b>第2期データヘルス計画における評価</b> 」と修正します。それに伴い、目次についてもあわせて修正します。 ②ご指摘のとおり、正しく表記するため、下から2行目以降について「特に、高血圧者の割合が <b>大きく上昇</b> しています。また、中・長期目標については、いずれの指標も <b>上昇</b> しています。特に、糖尿病の罹患割合の <b>上昇傾向が顕著</b> であります。」と修正します。	有
26	57	①ページ中段に「アウトプット②：継続受診率」とあります。言わんとすることは分かりますが、この用語の正しい定義は何ですか？継続とは何年間か等の補足説明が必要だと思います。 ②「課題・評価」の欄の末尾に「コロナ禍を経て、健診実施体制も予約制が多くなり、勧奨方法の検討が必要である。」とありますが、なぜ予約制が多くなると、勧奨方法の検討が必要なのでしょう？ ③「今後の方向性」の欄に「被保険者の健康維持と医療費増加の抑制を実現させるため、<以下略>」とありますが、下線部は（事業目的から考えても）「維持」ではなく「増進」が適切だと考えます。	①継続受診率とは、特定健診対象者のうち、前年度と当該年度2年連続特定健診を受診されている割合となります。ご指摘のとおり補足説明が必要と考えられるため、「 <b>※継続受診率は、事業実施年度及び前年度の2カ年の受診状況にて評価。</b> 」を追加します。 ②受診勧奨を実施するなかで、現時点では基本的に病院に予約の有無を含めて確認をお願いする内容を記載していますが、市民から、「予約なしで受診したい」という意見が出ています。今後は、受診に向けて事前予約が必要かどうかを全面的に記載するなど勧奨通知内容を分けていく案を検討しています。 ③ご指摘のとおり健康増進が事業目的であるため、「維持」から「 <b>増進</b> 」に修正します。	有
27	58	①アウトカム①の目標値である「生活習慣改善率」の定義（計算式）などはどういふものですか？また、令和3年度・4年度の実績値が急激に上昇し、目標値を大きく上回っている要因は何ですか？ ②アウトカム②として「特定保健指導実施者の次年度特定保健指導対象者の減少率」とあります。意味は分かるのですが、「の」を連続して使用していることもあり、少し表現としては気になります。例えば、「特定保健指導実施者の次年度特定保健指導対象者からの減少率」という言い回しはどうでしょうか。 ③「課題・評価」欄において「積極的に家庭訪問や再勧奨等を実施したことで利用率は向上したものの目標値には届かなかった」とありますが、「実施率」以外に「利用率」というものがあって目標値を設定しているのでしょうか？	①特定保健指導では、対象者に生活習慣を見直せるように専門職が関わります。そして、生活習慣改善のために対象者自ら目標を設定します。その目標に対して、3か月以上経過したところで、目標とした生活習慣の改善ができていないか、面接や電話、手紙等で確認・評価します。 計算式は「3か月継続して生活習慣改善をしている目標数÷初回面接で設定した目標数×100」で算出しています。 対象者により、目標の数や内容も様々ですが、目標を達成できたという自己効力感をより高めるため、より達成しやすいよう、実現可能な小さい目標を設定することが多くなっています。また、令和3、4年度の実績値が上昇した大きな要因は、目標設定時に専門職と一緒に目標を確認して意識づけをしたり、目標を対象者自身に記載してもらい、自覚を促すなどの対象者に寄り添う支援等が挙げられます。 ②ご指摘の「特定保健指導実施者の次年度特定保健指導対象者の減少率」の表記についてですが、国が示す特定保健指導の評価指標の表記を採用しています。違和感のある表現とはかと思いますが、 <b>現行のまま</b> とします。 ③「利用率」という表記になっていたため、「 <b>実施率</b> 」に修正します。	有
28	59	①「事業全体の評価」として「4：改善している」を選択していますが、どの部分をもって「改善」と評価しているのでしょうか？ ②「課題・評価」欄中において、4行目から「受診率は横ばいであり、20%台に留まり目標未達成」とありますが、この20%台とはどの数字を指しているのですか？また、下から4行目から「令和5年度は電話による再勧奨を検討する」とありますが、今年度（令和5年度）は、（もう年度末に近づいていますが）検討するだけで、実施は来年度ということですか？ ③「今後の方向性」欄において「がんの早期発見・早期治療をすることで医療費の抑制の観点からも重要であり、また被保険者の健康寿命の延伸にも大きく寄与することから、引き続き取り組む。」とありますが、下線部の「で」と「も」が、ちぐはぐになっています。修正案（その1）としては、「で」を「は」に変更するもので、修正案（その2）としては、「で」を活かして、「がんの早期発見・早期治療をすることで医療費の抑制が <b>図られること</b> からも重要であり、」とするものなどが考えられます。ご検討ください。	①中間評価以降で年度毎の各がん検診の平均値にて評価したところ、令和4年度が最も高かったことから「4：改善している」を選択しました。しかし、事業全体の評価として平成30年度と比較すると、平均値は0.1ポイントの上昇に留まっており、数値としては横ばいであるといえるため、「 <b>3：横ばい</b> 」に修正します。 ②令和4年度の各がん検診受診率について、最も高い肺がん検診においても26.7%であることから20%台としています。また、令和5年度の電話による再勧奨については、年度末に実施予定ですが、課題・評価の記載からは削除いたします。 ③適切な表現とするため、「がんの早期発見・早期治療をすることで医療費の抑制が <b>図られること</b> からも重要であり、」と修正します。	有

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
29	62	①アウトプット②の「保健指導実施率」の実績値が、令和3年度の88.9%から令和4年度の33.3%へ大きく下降した理由は何ですか？ ②アウトカム③の「保健指導実施完了者の総合判定改善率」の実績値が、令和2年度の26.7%から令和3年度には8.3%に大きく下降した理由は何ですか？ ③「事業全体の評価」として「4：改善している」としていますが、どこの部分の数値（の改善）をもって「改善している」と評価しているのですか？	①アウトプット②の「保健指導実施率」の令和4年度実績が下降した理由は、人員の確保、指導体制の整備が十分でなかった等が挙げられます。 ②アウトカム③の「保健指導実施完了者の総合判定改善率」については、毎年度指導の対象者が一致するわけではないこと、指導実施者が異なること等が影響していると考えています。 ③「事業全体の評価」について、アウトカム①の実績から、39歳の利用者のうち半数以上が特定健診の受診につながっていることをもって評価をしています。目標値の6割には届いていませんが、平成30年度と比較し上昇しており、半数以上が特定健診受診につながっています。40歳代前半の特定健診受診率が約2割であることから、20～30歳代の健康意識の向上につなげ、継続的な健診受診の意識づけにつながっていると考え、このような評価を行いました。目標の達成状況から再検討をし、事業全体の評価を「3：横ばい」に修正します。	有
30	63	①「事業目的」欄の文章が、対象者である患者側からの書き方になっているので、実施主体である市側からの書き方にする必要があります。そこで、例えば、「糖尿病性腎症患者への生活習慣改善指導による重症化や人工透析導入の防止」のような書き方ではいかがでしょうか。 ②「実施内容」として「面接等による適切な個別指導をかりつけ医と連携し実施」とありますが、「指導を」と「実施」が離れているので、順序を入れ替え「かかりつけ医と連携して面談等による適切な個別指導を実施」ではどうでしょうか。 ③アウトカム①の目標値である「指導完了者の生活習慣改善率」の定義（計算式）はどういうものですか？ ④「課題・評価」欄の下から3行目から、「全年度8割以上が生活習慣の改善、5割以上が検査値の改善ができた。一方で、指導実施率は令和元年以外は目標未達成だった」とありますが、「全年度8割以上で生活習慣の改善、5割以上で検査値の改善が見られた。一方で、指導実施率は令和元年度以外は目標未達成だった」としたらどうでしょうか。 ⑤「今後の方向性」欄において、「<前略> 一人当たり透析医療費は年々上昇してることから糖尿病性腎症重症化予防の取組が引き続き重要であるため、<以下略>」とありますが、「<前略> 一人当たり透析医療費が年々増加していることから糖尿病性腎症重症化予防の取組が益々重要であるため、<以下略>」としたらどうでしょうか。（引き続き重要とは言わないと思います）	①ご指摘のとおり、事業実施主体は「市」であるため、「事業目的」を「糖尿病性腎症患者への生活習慣改善指導による重症化や人工透析導入の防止」と修正します。 ②ご指摘のとおり、わかりやすい表現とするため。「実施内容」について「 <b>かかりつけ医と連携して面談等による適切な個別指導を実施</b> 」と修正します。 ③アウトカム①の目標値である「指導完了者の生活習慣改善率」の定義（計算式）については、指導を完了した者へのアンケートによる生活習慣の改善状況を集計し、一つでも改善が見られた項目がある者の人数を指導完了者数で割り算出します。 ④ご指摘のとおり、「課題・評価」欄の下から3行目以降について「全年度8割以上で生活習慣の改善、5割以上で検査値の改善が見られた。一方で、指導実施率は令和元年度以外は目標未達成だった」と修正します。 ⑤ご指摘のとおり、表現を正しくするため、「今後の方向性」の2行目について「<前略>糖尿病性腎症重症化予防の取組が <b>益々</b> 重要であるため、<以下略>」と修正します。	有
31	64	①「事業目的」として「糖尿病性腎症予備群の重症化予防を図ること」とありますが、（間違いではないですが）「を図ること」を削り「糖尿病性腎症予備群の重症化予防」でいいのではないですか。（受診勧奨事業<P66>と同様の書き方） ②「今後の方向性」欄において、「将来、糖尿病性腎症に移行する可能性がある対象者に、医療機関への受診勧奨や訪問による個別の保健指導を行う。<中略>人工透析への移行を予防することができることから、引き続き取組む。」とありますが、「糖尿病性腎症に移行する可能性が高い対象者に、訪問による医療機関への受診勧奨や個別の保健指導を行う。<中略>人工透析への移行を防止することができることから、引き続き取組む。」としたらどうでしょうか。（将来と書いてしまうと、何十年先まで考えたら、誰でも可能性があると思います）	①ご指摘のとおり、わかりやすい表現にするため、「 <b>糖尿病性腎症予備群の重症化予防</b> 」に修正します。 ②「 <del>将来</del> 、糖尿病性腎症に移行する可能性が高い対象者に、訪問による医療機関への受診勧奨や個別の保健指導を行う。」に修正します。「防止」という表現をご提案いただきましたが、当該年度の特健康診査の結果から、将来的な疾病のリスクを予想して受診勧奨や保健指導を実施するものであり、その性質として「予防」という将来に対してあらかじめ予測し準備・改善するものであるため、「防止」という言葉では表現できないものと考えます。そのため、現行の「予防」という表現のままとします。	有
32	65	①事業名称が「糖尿病性腎症重症化予防事業（歯科受診勧奨）」とあり、「事業目的」は「糖尿病や歯周病の重症化の予防及び医療費の適正化」とあります。「歯科受診勧奨」を実施する事業において、事業目的として、「糖尿病」と「歯周病」が並列関係でいいのですか？歯周病の重症化を予防することが、糖尿病の重症化の予防に結びつくのでしょうか？ ②「課題・評価」欄において「対象については他計画においても若い年代の歯周病有病者が課題であることから30歳代も含め、事業対象を段階的に拡大し勧奨を行った。」とあります。下線部の書き方だと、人（有病者）そのものが課題である、ことになってしまいます。あくまでも私の憶測ですが、歯周病の若年層化の進行が課題となっているということでしょうか？もし、私の憶測が正しいのであれば、この文章は、例えば、「他計画においても歯周病の若年層化の進行が課題となっていることから、対象者を30歳代も含め段階的に拡大し勧奨を行った。」のようにしてはどうでしょうか。	①歯周病は様々な疾患や全身の状況に栄養を及ぼすことが明らかになっており、その中でも特に糖尿病と歯周病の関連が深いことが示されています。糖尿病患者は歯周病が悪化しやすく、歯周病が悪化することで血糖コントロール不良等につながることから、糖尿病患者に対して適切な歯周病治療につなげることで、糖尿病の重症化を予防し、透析導入を防ぐこと等医療費の適正化につなげることを目的としていますのでこのように示しています。 ②ご指摘のとおり、「課題・評価」欄についてわかりやすい表記とするため「他計画においても歯周病有病率が <b>若い世代から増加することが課題となっている</b> ことから、30歳代も <b>対象</b> に含め、」と修正いたします。	有
33	66	①アウトプット②の令和5年度目標値の記載が「70人 100%」となっているので、「70人」を削る必要があると考えます。 ②「課題・評価」欄において、3行目に「未受診者へのタイムリーな再勧奨はがきの送付等」とありますが、「タイムリーな」は「送付等」の修飾語であることから、「未受診者への再勧奨はがきのタイムリーな送付等」のほうが良いと考えます。また、下から2行目から「経年的に対象となる者への勧奨方法等、実施方法の見直し・検討していく必要がある」とありますが、「実施方法の見直し」以外に何らかの特別な検討材料があるのでしょうか？他の事業と同じように、「勧奨方法等の再検討が必要である」や、「勧奨方法等の検討が必要である」のような書き方としてはどうでしょうか。	①ご指摘のとおり、令和5年度の目標値を「 <b>100%</b> 」に修正します。 ②ご指摘のとおり、適切な書き方とするため、「未受診者への <b>再勧奨はがきのタイムリーな送付等</b> 」に修正します。また下から2行目についても「経年的に対象となる者への <b>勧奨方法等の検討が必要である</b> 」に修正します。	有



No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
34	67	<p>①事業目的として、「特定保健指導対象外の者が生活習慣の改善により重症化を予防すること」とありますが、言い回しを少し変えて「生活習慣の改善指導による特定保健指導対象外の者の重症化予防」としてはどうでしょうか。</p> <p>②アウトプット①の令和5年度目標値が「80% 40%」となっているので「80%」を削る必要があると考えます。</p> <p>③アウトカム①について、令和5年度目標値が「30% 28%以下」となっていますが、「28%」が正しいのではないのでしょうか。また、指標として、「令和3年度以降は特定健康診査受診者のうち、医療機関受診勧奨値以上の割合」となっているのに対し、令和4年度実績は25.6%で、目標値の28%を下回っているのに達成状況○となっているのは何故ですか。</p> <p>④「今後の方向性」欄において、1行目に「特定保健指導対象外の者に対して広く保健指導を行うことで、健康に対する意識の改善や行動変容を促す」とありますが、「対象者外の者」は「者」が重複していることから、「対象外の者」が正しいと考えます。また、「意識の改善」は、元の意識が悪いものであったわけではないので、「意識改革」のほうが適切かと考えます。次に、1番下の行に「対象者は早期治療を促すことで重症化を未然に防ぐことができる者であることから引き続き取り組む」とありますが、下線部が意味が通じないことから、例えば、「早期治療を促すことで重症化を未然に防ぐことができることから、引き続き取り組む」ではいかがでしょうか。</p>	<p>①事業目的について、より分かりやすい表現とするため「<b>生活習慣の改善指導による特定保健指導対象外の者の重症化予防</b>」と修正します。</p> <p>②ご指摘のとおり、令和5年度の目標値を「<b>40%</b>」に修正します。</p> <p>③令和3年度以降アウトカム評価は、特定健康診査受診者のうち、医療機関受診勧奨判定値以上の割合が28%以下となることを目標としています。適切な表現とするため、令和5年度の目標値の「30%」は削除し、「<b>28%以下</b>」に修正します。令和3年度～令和4年度の目標値も「<b>28%以下</b>」に修正します。また、令和4年度の実績は28%以下であるため、達成状況○としております。</p> <p>④ご指摘のとおり、「特定保健指導<b>対象外の者</b>」に修正します。「意識の改善や行動変容を促す」の部分ですが、より適切な表現にするため「～に対して広く保健指導を行うことで、<b>生活習慣の改善を促す</b>ことができる」に修正します。1番下の行については、ご指摘のとおり「<b>早期治療を促すことで重症化を未然に防ぐことができる</b>」ことから、引き続き取り組む」に修正します。</p>	有
35	69	<p>①実施内容として、「対象者に訪問等により適正な受診行動につなげるための指導を実施」とありますが、「対象者に」はあえて記載する必要はないことから削り、順番を入れ替えて「適正な受診行動につなげるための指導を訪問等により実施」ではいかがでしょうか。</p> <p>②アウトカム①「指導実施完了者の受診行動適正化率」の令和4年度実績は47.1%で目標値の50%を下回っていますが、「達成状況○」でいいのですか？</p> <p>③アウトカム②の令和4年度実績が、(目標値の10%減少に対して)0.04%増加となっています。令和3年度には10.9%減少であったにもかかわらず、令和4年度には0.04%増加となったのは、何か特別な理由があるのでしょうか？</p> <p>④「今後の方向性」欄において、1行目の中に「指導対象者が<b>限局的</b>であり」とありますが、下線部の「限局的」の意味が理解できないことから、分かりやすい言葉にしたほうが良いと考えます。</p>	<p>①ご指摘のとおり、実施内容について「<b>適正な受診行動につなげるための指導を訪問等により実施</b>」と修正いたします。</p> <p>②アウトカム①「指導実施完了者の受診行動適正化率」の令和4年度実績の「達成状況」を「<b>x</b>」に修正します。</p> <p>③アウトカム②の令和4年度実績について、指導の対象者は毎年度同一でないこと、また指導担当者が異なることから、指導の効果が十分に上げられなかったと考えられます。</p> <p>④ご指摘のとおり、わかりやすい表現とするため、「今後の方向性」欄の1行目を「指導対象者が<b>限られており</b>」と修正します。</p>	有
36	70	<p>【レセプト・医療費データ】</p> <p>①4つめの項目中、「透析医療費が年々<b>上昇</b>している」とありますが、金額の場合には「上昇」よりも「増加」のほうが適切かと考えます。</p> <p>②最後の項目中、「細小分類別医療費の標準化比(対県)をみると、<b>大腸がんが男女ともに特に高い</b>。」とありますが、女性の場合には、大腸がんよりも肺がん・うつ病のほうが高いので、大腸がんが特に高いとは言えないと思うのですが如何(P22参照)。</p> <p>【健診・検診データ】</p> <p>①1つ目の項目中、「特定健康診査の受診率は、コロナ禍で受診率を下げた令和2年度以後は回復傾向にあり」とありますが、この書き方だと、令和2年度は、コロナ禍で受診率を下げた年度であるとともに、回復傾向にある年度であることになってしまいますので、例えば、「特定健康診査の受診率は、令和2年度はコロナ禍で受診率を下げたが、令和3年度以後は回復傾向にあり」としてはどうでしょうか。</p> <p>②2つ目の項目中、「若年層(働き世代)の健診受診率が<b>伸び悩んでいる</b>が、県の値と比べるとやや高い。」とあります。年代別の受診率は44ページに掲載されていますが、本データでは令和4年度の数値しか掲載されておらず、過去の数値がわからないので伸び悩んでいることの確認ができないのですが、過年度データは、そうなっているというところで間違いないですか。</p> <p>③4つめの項目中、「健診未受診者の一件当たり医療費は健診受診者の<b>1.76倍高い</b>」とありますが、「何倍高い」とは言わないと思うので、下線部は「<b>1.76倍である</b>」でいいと思います。</p> <p>④5つ目の項目中、「特定保健指導実施率は &lt;中略&gt; <b>実施率向上</b>につながった」とあります。しかし、実施率は、令和3年度の34.5%から令和4年度には33.6%にやや低下している(P50・P58参照)ので、実施率向上につながったとは言えないと思いますが如何。</p>	<p>【レセプト・医療費データ】</p> <p>①4つめの項目について「透析医療費が年々<b>増加</b>している」と修正します。</p> <p>②最後の項目について、ご指摘のとおり、女性の場合には、大腸がんが高い順から3番目であることから、「特に」を削除し、「細小分類別医療費の標準化比(対県)をみると、大腸がんが男女ともに<b>高い</b>。」と修正します。</p> <p>【健診・検診データ】</p> <p>①1つ目の項目中について「特定健康診査の受診率は、<b>令和2年度は</b>コロナ禍で受診率を下げたが、<b>令和3年度以後は</b>回復傾向にあり」と修正します。</p> <p>②2つ目の項目について、お見込みのとおり、若年層(働き世代)の健診受診率は、経年的に10~20%台で推移しております。</p> <p>③4つめの項目について「健診未受診者の一件当たり医療費は健診受診者の<b>1.76倍である</b>」と修正します。</p> <p>④5つ目の項目について、ご指摘のとおり、特定保健指導実施率は、令和3年度から令和4年度にかけやや低下していますが、令和2年と比較すると上昇しており、第2期計画の初年度である平成30年度からの推移をみても上昇傾向にあることからこのように表現しております。</p>	有
37	71	<p>①上段右側の表中の項目名として「対応する健康課題」とありますが、この見方が分かりません。例えば、上段左側の表中の項目記号「A」の次に健康課題が記載してあります。その欄を右に進むと、対応する健康課題も「A」となっています。Aという健康課題に対応する健康課題もAであるというのどういう意味でしょうか？</p> <p>②上段右側の表中の1番右側の項目「計画全体の評価指標」のうち「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」とありますが、下線部は「特定保健指導実施による」のほうがいいのではないのでしょうか。(【参考】P58のアウトカム②特定保健指導実施者の次年度特定保健指導対象者の減少率)</p>	<p>①「対応する健康課題」については各健康課題への対応状況を評価するための各指標との紐づけを示すものであります。厚労省の示す「国民健康保険健康事業の実施計画(データヘルス計画)策定の手引き」に、計画の標準化の推進のために示される「共通の様式」の「Ⅲ 記載では計画全体シート」を改編していますが、A3用紙1ページ分のシートをA4用紙2ページに分割していることで、ご指摘のとおり、現在の配置ではスムーズに紐づけすることが難しいと言えるため、「<b>計画全体の評価指標</b>」の列の右へ「対応する健康課題」の列を移動する形で修正します。</p> <p>②「計画全体の評価指標」についてですが、「No.27②でお答えいたしました」とおり、「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」は国の示した評価指標の表記を採用しているため、現行のままにします。58ページに示すアウトカム②特定保健指導実施者の次年度特定保健指導対象者の減少率については、国の計画標準化の流れが示される以前に策定した第2期計画の指標であり、統一が図られたものではありませんでした。</p>	有
38	72	<p>①(No.37②と同様)表中の「計画全体の評価指標」の項目のうち「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」とありますが、下線部は「特定保健指導実施による」のほうがいいのではないのでしょうか。</p> <p>②表下段欄外に「※( )内の数値は、当面の目標とする。」とあり、以降の複数箇所において、この表記が登場しますが、この二種類の数値をどのように理解したらいいのでしょうか？目標値は、計画策定において重要な要素であるにもかかわらず、関係者以外には理解できない設定がされており、補足説明が必須だと考えます。</p>	<p>①「計画全体の評価指標」についてですが、No.27②でお答えいたしましたとおり、「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」は国の示した評価指標の表記を採用しているため、現行のままにします。</p> <p>②ご指摘のとおり、説明の追加が必要であるといえるため、「※( )内の数値：<b>国の目標値と現状では乖離があるため、( )は充足値として当面の目標を記載。</b>」と修正します。</p>	有
39	73	<p>①「事業1」の名称が「<b>糖尿病性腎症重症化予防(保健指導)</b>」となっていますが、下線部は「<b>予防事業(保健指導)</b>」ではないのでしょうか。</p> <p>②(No.30①と同様)「事業の目的」欄の文章が、対象者である患者側からの書き方になっているので、実施主体である市側からの書き方する必要があります。そこで、例えば、「<b>糖尿病性腎症患者への生活習慣改善指導により重症化や人口透析導入を防ぐことを目的とする</b>」のような書き方ではいかがでしょうか。</p> <p>③「対象者」に係る表中の「選定方法」において、「<b>前年度の特定健康診査受診結果した対象者</b>」との記載がありますが、下線部の意味がわからないので、正しく記載してください。</p>	<p>①「事業1」の名称を「<b>糖尿病性腎症重症化予防事業(保健指導)</b>」と修正します。それに合わせて71ページ下部に記載の事業名も修正します。</p> <p>②「事業の目的」欄について、「<b>糖尿病性腎症患者への生活習慣改善指導</b>により重症化や人工透析導入を防ぐことを目的とする」と修正します。</p> <p>③ご指摘のとおり、「対象者」の「選定方法」について「前年度の特定健康診査受診結果<b>及び</b>レセプトを確認し」と修正します。</p>	有

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
40	74	「事業の目的」として「糖尿病性腎症予備群へ医療機関の受診・保健指導を通じて、人工透析移行の予防を目的とする。」とありますが、「糖尿病性腎症予備群に対する医療機関の受診勧奨・保健指導の実施による人工透析移行の予防を目的とする。」のようにしてはどうでしょうか。	ご指摘のとおり、よりわかりやすい表記とするため、「糖尿病性腎症予備群に対する医療機関の受診勧奨・保健指導の実施による人工透析移行の予防を目的とする。」と修正します。	有
41	75	①「事業の概要」として「<前略> 未受診者には受診行動につながる様、対象者の特性に合わせた通知物を送付する。」とありますが、「<前略> 未受診者には、受診行動につながるよう、対象者の特性に合わせた勧奨通知を送付する。」のほうが良いと思います。理由として、「様」を一字の漢字として使うのは「様(さま)になる」という場合であり、「通知物」という表現は一般的には使わないと考えます。 ②アウトカム指標の表中で、項目名は「計画策定時実績(令和4年度)」としながら、「R3、R4平均」の数値を記載しているのはなぜですか。各事業共通で令和4年度実績値を記載する表なので、令和4年度実績値を記載すべきと考えます。また、何らかの事情があって2か年平均を記載するのであれば、欄外に補足説明を記載したほうが良いと思います。	①ご指摘のとおり、よりわかりやすい表記とするため、「<前略> 未受診者には、受診行動につながるよう、対象者の特性に合わせた勧奨通知を送付する。」と修正します。 ②「計画策定時実績(令和4年度)」にて表記内容と一致させるため、「23.2%」に修正します。	有
42	76	①アウトカム指標No.1において、「評価指標」として、「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」とありますが、「特定保健指導実施による特定保健指導対象者の減少率」のように「実施」を加えたほうが良いと思います(No.37②と同様)。また、「評価方法・対象」として、「昨年度の特定保健指導終了者数のうち、今年度は特定保健指導の対象者でなくなった者の割合」とありますが、「特定保健指導終了者のうち、その翌年度は特定保健指導の対象外となった者の割合」としてはどうでしょうか。 ②アウトカム指標No.2において、「評価指標」として、「内臓脂肪症候群の該当率の割合」とありますが、「率の割合」は日本語としておかしいので、「評価対象・方法」欄中の記載と同じ「内臓脂肪症候群該当者の割合」が適切と考えます。 ③アウトカム指標No.3において、「評価対象・方法」として、「特定保健指導対象者のうち、特定保健指導を終了した者の割合」とありますが、下線部の「の」は「を」が正しいと考えます。	①No.27②でお答えいたしましたとおり、「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」は国の示した評価指標の表記を採用しているため、現行のままにします。 ②ご指摘のとおり、誤解を招かないために、国の示す評価指標の表記に合わせて、「内臓脂肪症候群該当者割合」と修正します。 ③ご指摘のとおり、わかりやすい表記とするため、「特定保健指導対象者のうち、特定保健指導を終了した者の割合」に修正します。	有
43	77	①「事業の目的」として、「がん検診の受診により、<以下略>」とありますが、実施主体である市側からの書き方として「がん検診の受診率を向上させることにより、<以下略>」としてはいかがでしょうか。 ②アウトカム指標No.4において、令和8年度の目標値が78.5%となっていますが、前後の年度間の数値を見ると、毎年2.5%ずつ上昇させていくような設定だと推測されることから、77.5%となるのではないですか。	①ご指摘のとおり、事業実施主体は「市」であるため、「がん検診の受診率を向上させることにより、」と修正します。 ②ご指摘のとおり、毎年2.5ポイントずつ上昇する設定であることから、「77.5%」に修正します。	有
44	78	①「事業の概要」中、「通知物は、対象者の性別や検査結果等、特性に合わせたものを送付する。」とありますが、一般的に「通知物」という表現は使用しないと思いますので、「対象者の性別や検査結果等、特性に合わせた通知書を送付する。」ではいかがでしょうか。 ②「対象者」に係る表中の「除外基準」において、「特定保健指導実施対象者、糖尿病性腎症重症化予防事業対象者は除く。」とありますが、下線部は76ページとの整合を図り「特定保健指導対象者」(実施なし)とし、また、73ページの事業1との整合を図り、末尾の「は除く。」を削り、「特定保健指導対象者、糖尿病性腎症重症化予防事業対象者」としたらどうでしょうか。	①ご指摘のとおり、正しい表現とするため、「対象者の性別や検査結果等、特性に合わせた通知書を送付する。」と修正します。 ②表記を統一するため、「特定保健指導対象者、糖尿病性腎症重症化予防事業対象者」に修正します。	有
45	79	①「事業の目的」として、「生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため、被保険者が自身の健康状態を理解し、生活習慣の改善に主体的に取り組むことを目的とする。」とありますが、実施主体である市側からの書き方である必要があるため、例えば、「生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため、被保険者に自身の健康状態を理解させ、生活習慣の改善に主体的に取り組ませることを目的とする。」ではいかがでしょうか。 ②「事業の概要」として、「<前略> 必要な生活習慣(食事や運動、喫煙、飲酒等)を周知啓発する」とありますが、この書き方だと「喫煙・飲酒」そのものが必要な生活習慣であると言っているようなものです。そこで、例えば、「<前略> 食事や運動、喫煙・飲酒等において必要な生活習慣を周知啓発する」ではいかがでしょうか。 ③「対象者」として、「国保被保険者を含む市民」とありますが、これは「市民+市民以外であるが沼津市国保被保険者である者」ということですか。しかし、「〇〇を含む市民」という場合には、最大値が市民になることから、市民以外は含まれないので、端的に「市民」と言えばよいと思うので、「国保被保険者を含む市民」の意図するところが分かりません。 ④アウトカム指標における「評価指標」として、「延べ参加者1,000人」とありますが、「延べ参加者数1,000人」が正しいと考えます。	①ご指摘のとおり、事業実施主体は「市」であるため、「生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため、被保険者が自身の健康状態を理解し、生活習慣の改善に主体的に取り組めるよう啓発することを目的とする。」に修正します。 ②ご指摘のとおり、「喫煙・飲酒」が必要な生活習慣であると誤解を招かないために、「生活習慣病の発症予防・重症化予防のために、 <u>食事や運動、喫煙・飲酒等において適切な生活習慣</u> を周知啓発する」に修正します。 ③端的に表現するため、対象者の表記を「市民」に修正します。 ④ご指摘のとおり、参加者数とする方が適切であると考えます。評価対象について再検討した結果、参加型の取組だけではないことから、「延べ啓発人数」に修正します。	有
46	80	(1)医療費適正化事業 ①表中、項目名として「実施主幹課」とありますが、「実施主管課」が正しいので、修正が必要です。(なお、本ページの(2)~(4)、及び、次ページの(5)も併せて修正してください) ②No.1の「事業の概要」として、「ジェネリック医薬品の普及・啓発(差額通知の送付、窓口等でのジェネリック医薬品希望カードの配布等)、関係機関と連携した対策を実施します。」とあります。この書き方だと、「普及・啓発」と「関係機関と連携した対策」が並列関係にあり、この両者を実施する、という意味になりますが、「関係機関と連携した対策」だけでは、対策の中身が不明です。そこで、例えば、「ジェネリック医薬品の普及・啓発(差額通知の送付、窓口等でのジェネリック医薬品希望カードの配布等)について、関係機関と連携し実施します。」ではいかがでしょうか。 ③No.2の「事業の概要」欄中、「保健師等による訪問等」とありますが、一つ目の「等」を削り「保健師による訪問等」でいいのではないですか。	①ご指摘のとおり、(1)~(4)及び81ページの(5)の表中の表記を正しくするため、「実施主管課」に修正します。 ②ご指摘のとおり、No.1の「事業の概要」について、並列関係を明示することを意図していなかったため、わかりやすいよう、「ジェネリック医薬品の普及・啓発(差額通知の送付、窓口等でのジェネリック医薬品希望カードの配布等)について、関係機関と連携し実施します。」と修正します。 ③ご指摘のとおり、No.2の「事業の概要」の表記ですが「等」が重複していますが、保健師のほか、対象者からの希望に応じる形で薬剤師による訪問を行う場合もあるため、表記については現行のままの表記といたします。	有
47	80	(2)ハイリスク者への保健指導事業 本事業の対象者を、「事業の概要」において「特定保健指導対象外の有所見者」としていますが、特定保健指導の対象外でありながら有所見者であるというのは、具体的には、どのようなケースでしょうか?	特定保健指導対象外の有所見者は、特定保健指導対象者を除く「受診勧奨判定値以上の者」としております。わかりやすい表記とするため、 <u>注釈にてハイリスク者の定義を追記</u> いたします。	有
48	80	(3)健康教育・健康相談 No.3の「事業の概要」として、「来所及び電話による生活習慣病予防に関する栄養相談を実施します」とありますが、この下線部の電話は、市民からかかってきたものを指すのでしょうか。それとも、対象者を抽出してかけるものなのでしょうか。もし、前者であれば、「来所及び電話の際に」としたほうが良いと思います。また、後者であれば、「来所の際及び電話による」のような書き方が良いのではないかと考えます。	生活習慣病栄養相談は、市民から受ける栄養相談です。「来所及び電話による生活習慣病予防に関する栄養相談を実施します」という表記は、市民に配布している広報媒体にもそのまま同様の表記で案内しており、今まで市民からの質問はなく、意図は理解していただいていたものと認識しております。したがって、表記については現行のままの表記といたします。	無

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
49	80	(4) ドック・検診等 No.2の「事業の概要」として、「<前略> 生活習慣病のリスクのある対象者へは状態に応じて保健指導を実施します。」とありますが、下線部は、「 <u>対象者に対し、その</u> 」としてはいかがでしょうか。また、文章末尾に「。、」と句点と読点が続いているので、読点「、」は削除してください。	ご指摘のとおり、No.2の「事業の概要」の表現について、分かりやすく、かつ文章末尾の句読点を正しくするため、3行目以降を「 <u>対象者に対し、その</u> 」状態に応じて保健指導を実施します。」と修正いたします。	有
50	81	(5) 普及啓発 No.2の「事業名」として、「健康増進計画における各領域（食生活・運動・健康管理等）の取組」とありますが、末尾に「事業」がつかない場合もあるにしても、事業名の表記としては違和感を感じざるを得ません。	健康増進計画における各領域の取組も事業であることは変わらないため、「健康増進計画における各領域（食生活・運動・健康管理等） <u>に係る事業</u> 」に修正いたします。	有
51	82	(1) 個別の保健事業の評価・見直し 本文中3行目から「 <u>目標の達成状況が想定に達していない場合は</u> 、ストラクチャーやプロセスが適切であったかを確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を検討して、次年度の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させます。」とあります。先頭の下線部の書き方では、「目標を設定しても、それは別に想定があり、最初から目標達成は目指さずに想定をクリアすればいい」ことになってしまい、「目標」の意味がないことになってしまおうと思います。そこで、「 <u>目標が達成できていない場合は</u> 、ストラクチャーやプロセスが適切であったかを確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を分析して、次年度以降の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させます。」としてはいかがでしょうか。	ご指摘のとおり、目標達成を目指し各事業を推進しております。適切な表現とするため、3行目以降を「 <u>目標未達成の場合は</u> 、ストラクチャーやプロセスが適切であったかを確認の上、目標を達成できなかった原因や事業の必要性等を分析して、次年度以降の保健事業の実施やデータヘルス計画の見直しに反映させます。」と修正します。	有
52	82	(2) データヘルス計画全体の評価・見直し②評価方法・体制 本文中1行目に「 <u>計画は、中長期的な計画運営を行う</u> 」とありますが、計画が繰り返し使用されており、2つ目の「計画」は不要なので「計画は、中長期的に運営を行う」でいいと思います。次に1行目後半から「 <u>短期では評価が難しいアウトカム（成果）指標を中心とした評価指標による評価を行います</u> 」とありますが、評価が繰り返し使用されていることから、「評価指標による」を削り、「短期では評価が難しいアウトカム（成果）指標を中心とした評価を行います」でいいのではないのでしょうか。また、2行目から「 <u>評価に当たっては、必要に応じ他保険者との連携・協力体制を整備します。</u> 」とありますが、「関係機関」ではなく「他保険者」というと、例えば、三島市（国保）や富士市（国保）を指すのでしょうか？では、他保険者との連携として想定されるのは、どのようなものなのでしょうか。	ご指摘のとおり、本文中1行目について、重複する文言を削除し、「計画は、 <u>中長期的に</u> 運営を行うものである」と修正します。  二つ目に、ご指摘のとおり、1行目後半からの文章では「 <u>評価</u> 」が重複することから「短期では評価が難しいアウトカム（成果）指標を <u>中心とした評価</u> を行います」と修正します。  三つ目に質問していただいております、2行目にある「他保険者」とは、厚労省の示す「国民健康保険保健事業の実施計画（データヘルス計画）策定の手引き」にも明示されているとおり、後期高齢者医療の健診や医療情報をもとに、事業の実施から評価までの連携を想定しています。他の市町国保との連携は現時点では想定しておりません。	有
53	86	①本文3行目中「 <u>第3期データヘルス計画</u> 」とありますが、略称とせず、「 <u>第3期沼津市国民健康保険データヘルス計画</u> 」と正式名称で記載する（下部の体系図との整合）のが適当であると考えます。 ②体系図右側《沼津市》の一番下の枠内において、「 <u>第10次沼津市後期高齢者保健福祉計画</u> その他関連計画」とありますが、下線部の「 <u>後期</u> 」は削除して下さい（本文中2行目との整合を図ってください）。	①「 <u>第3期データヘルス計画</u> 」を、「 <u>第3期沼津市国民健康保険データヘルス計画</u> 」と修正します。  ②本文中の整合性を図るため、「 <u>第10次沼津市高齢者保健福祉計画</u> 」に修正します。	有
54	87	①本文が「 <u>特定健康診査及び特定保健指導に係る、これまでの主な取組を示したものです。</u> 」とありますが、書き出しが唐突なので、「 <u>以下は、</u> 」を文章の先頭につけたらいいのではないのでしょうか。 ②【特定健康診査】の表の「 <u>取組</u> 」の項目中、「 <u>がん検診との取組</u> 」とありますが、「 <u>実施内容</u> 」を表し切れていないので、例えば、「 <u>がん検診との同時受診の体制整備</u> 」としてはどうでしょうか。 ③【特定保健指導】の表中、「 <u>事業分類</u> 」として、「 <u>特定保健指導受診率の向上</u> 」となっていますが、下線部は「 <u>実施率</u> 」が正しいと考えます（P76との整合性）。次に、「 <u>取組</u> 」の項目中、「 <u>保健指導内容の充実</u> 」とありますが、「 <u>実施内容</u> 」の記載からすると、下線部は「 <u>体制</u> 」のほうがいいのではないのでしょうか。また、「 <u>実施内容</u> 」の項目中、「 <u>夜間や休日の指導を取組む</u> 」とありますが、下線部は「 <u>指導に</u> 」の方が適切と考えます。	①わかりやすくするため、文頭に「 <u>以下は、</u> 」を追加します。  ②わかりやすくするため、「 <u>がん検診との同時実施の体制整備</u> 」に修正します。  ③「 <u>受診率</u> 」→「 <u>実施率</u> 」、「 <u>保健指導内容の充実</u> 」→「 <u>保健指導体制の充実</u> 」、「 <u>夜間や休日の指導を取組む</u> 」→「 <u>夜間や休日の指導に取組む</u> 」に修正します。	有
55	88	①本文が「 <u>平成20年度からの受診状況を示したものです。</u> 」とありますが、書き出しが唐突なので、「 <u>以下は、</u> 」を文章の先頭につけたらいいのではないのでしょうか。 ②上段の表の名称が「 <u>特定健康診査受診率及び目標値</u> 」とあり、下段のグラフと同名称となっています。下段のグラフは、この2項目のみを表示していますが、上段の表は、この2項目以外に、対象者数・受診者数の2項目も表示していることから、表名称を、例えば、「 <u>特定健康診査受診状況（年度別推移）</u> 」などとしてはどうでしょうか。 ③上段の表及び下段のグラフの欄外に「 <u>※特定健康診査受診率…特定健康診査対象者に対する特定健康診査受診者数の割合</u> 」とありますが、下線部は「 <u>対象者数</u> 」が正しいと考えます。	①わかりやすい表記とするため、文頭に「 <u>以下は、</u> 」を追加します。  ②受診率及び目標値以外の内容が表に記載されているため、「 <u>特定健康診査受診状況（年度別推移）</u> 」に修正します。  ③ご指摘のとおり、正しい表記とするため「 <u>特定健康診査対象者数</u> 」に修正します。	有
56	89	①本文が「 <u>平成20年度からの実施状況を示したものです。</u> 」とありますが、書き出しが唐突なので、「 <u>以下は、</u> 」を文章の先頭につけたらいいのではないのでしょうか。 ②上段の表の名称が「 <u>特定保健指導実施率及び目標値</u> 」とあり、下段のグラフと同名称となっています。下段のグラフは、この2項目のみを表示していますが、上段の表は、この2項目以外に、対象者数・利用者数の2項目も表示していることから、表名称を、例えば、「 <u>特定保健指導実施状況（年度別推移）</u> 」としてはどうでしょうか。 ③上段の表の欄外に「 <u>※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導実施者の割合</u> 」とありますが、下線部は、それぞれ「 <u>対象者数</u> 」、「 <u>実施者数</u> 」が正しいと考えます。 ④下段のグラフの欄外に「 <u>※特定保健指導実施率…特定保健指導対象者に対する特定保健指導終了者の割合</u> 」とありますが、下線部は、それぞれ「 <u>対象者数</u> 」、「 <u>実施者数</u> 」が正しいと考えます。	①ご指摘のとおり、文頭に「 <u>以下は、</u> 」を追加します。  ②ご指摘のとおり、正しい表記とするため、上段の表の名称を「 <u>特定保健指導実施状況（年度別推移）</u> 」に修正します。  ③及び④「 <u>特定保健指導対象者数</u> に対する <u>特定保健指導実施者数</u> の割合」に修正します。	有
57	90	①本文が「 <u>支援レベル別の特定保健指導の実施状況を示したものです。</u> 」とありますが、書き出しが唐突なので、「 <u>以下は、</u> 」を文章の先頭につけたらいいのではないのでしょうか。 ②上段の表及び下段のグラフの名称が「 <u>積極的支援実施状況</u> 」とありますが、この書き方であれば、No.55・No.56と違って、上段・下段同じ名称でもいいと思いますが、名称は、「 <u>積極的支援実施状況（年度別推移）</u> 」のほうが適切と考えます。 ③上段の表及び下段のグラフの欄外に「 <u>※積極的支援実施率…積極的支援対象者に対する積極的支援実施者の割合</u> 」とありますが、下線部は「 <u>対象者数</u> 」、「 <u>実施者数</u> 」が正しいと考えます。 ④令和3年度の積極的支援実施率が30.3%で、他の年度と比較して際立って高いのはなぜですか？	①ご指摘のとおり、文頭に「 <u>以下は、</u> 」を追加します。  ②上段の表の名称を「 <u>積極的支援実施状況（年度別推移）</u> 」に、下段のグラフの名称を「 <u>積極的支援実施率（年度別推移）</u> 」に修正します。  ③グラフ欄外の「 <u>積極的支援対象者数</u> に対する <u>積極的支援実施者数</u> の割合」に修正します。  ④令和3年度の積極的支援実施率が高い要因として、積極的支援対象者を全員に保健センターに特定健診結果表を取りに来所してもらうか、来所しない対象者には家庭訪問を実施したためです。	有

No.	ページ	意見の内容	市の考え方・対応	修正の有無
58	91	①上段の表及び下段のグラフの名称が「動機付け支援実施状況」とありますが、この書き方であればNo.55・No.56と違って、上段・下段同じ名称でもいいと思いますが、名称は、「動機付け支援実施状況（年度別推移）」のほうが適切と考えます。 ②上段の表及び下段のグラフの欄外に「※動機付け支援実施率…動機付け支援対象者に対する動機付け支援実施者の割合」とありますが、下線部は「対象者数」、「実施者数」が正しいと考えます。	①上段の表の名称を「動機付け支援実施状況（年度別推移）」に、下段のグラフの名称を「動機付け支援実施率（年度別推移）」に修正します。 ②「動機付け支援対象者数に対する動機付け支援実施者数の割合」に修正します。	有
59	92	①本文が「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率を示したものです。」とありますが、書き出しが唐突なので、「以下は、」を文章の先頭につけたらいいのではないのでしょうか。 ②（No.37②と同様）このページ中に「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」という文言が8か所ありますが、下線部は「特定保健指導実施」のほうがいいのではないのでしょうか。	①ご指摘のとおり、文頭に「以下は、」を追加します。 ②No.27②でお答えいたしましたとおり、「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」は国の示した評価指標の表記を採用しているため、現行のままとします。	有
60	93	(1)現状のまとめと目標値に対する達成状況の表中「特定健康診査」に係る「状況」中の4行目に「いっそう重点的に取組む」とありますが、下線部は「一層」と漢字表記にするか、57ページ（今後の方向性欄）と同じように「引き続き」とするか、のいずれかにしたほうがいいと思いますので、ご確認ください。	整合性を図るため、「引き続き」に修正します。	有
61	93	(2)事業実施体制の評価の表中の項目名が、「分類」と「状況」になっていますが、見出しの名称が「事業実施体制の評価」なので、「状況」ではなく「評価」と記載するのが適切と考えます。ただし、「状況」の項の記載内容を見ると、「庁内担当部署」の欄では、一応「評価」がされていると思いますが、「関係機関」「民間事業者」の欄の文章では、実施内容を記載しているだけで、「評価」はされていないと考えますので、見出しどおり、事業実施体制の「評価」を記載してください。	見出しの名称と統一するため、(2)表中の項目「状況」を「評価」に修正します。 また、評価内容が不足しているため、「関係機関」の評価に「 <u>健診委託先である各医療機関や関係団体と連携し適切な健診の実施に向けて協力することができた。</u> 」を追加します。 また同様に「民間事業者」の評価を、「 <u>送付を実施することができた。</u> 」に修正し、「 <u>企業等と連携し健診のPR活動を協力してすることができたが、まだPR活動の拡大を図るためにはより多くの企業の協力が必要である。</u> 」を追加します。	有
62	94	(No.37②と同様)1.目標の表中及び欄外に「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」とありますが、下線部は「特定保健指導実施による」のほうがいいのではないのでしょうか。	No.27②でお答えいたしましたとおり、「特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率」は国の示した評価指標の表記を採用しているため、現行のままとします。	無
63	96	イ.実施項目の本文が「国が定める対象者全員に実施する「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」に基づき実施します。」とあります。下線部の書き方だと、対象者を国が定めていることになりませんが、国が定めているのは基本的な健診項目ではないのでしょうか。また、文章中「実施」が3回登場しますが、見出しの名称が「実施項目」であることから、本文末尾の「実施します」は不要なので、例えば、「対象者全員に実施する国が定める「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」があります。」ではいかがでしょうか。	わかりやすい表記とするため、「 <u>対象者全員に実施する国が定める「基本的な健診項目」と、医師が必要と判断した場合に実施する「詳細な健診項目」があります。</u> 」に修正します。	有
64	100	①本文が「第4期計画期間における目標達成に向けての取組を示したものです。」とありますが、書き出しが唐突なので、「以下は、」を文章の先頭につけたらいいのではないのでしょうか。 ②上段・下段の表の項目見出しとして「事業分類」とありますが、事業は、特定健康診査及び特定保健指導であって、「医療機関との連携」などは、事業の一段階下のレベルとなるので、「業務」とか「作業」などといった表現のほうが適切と考えます。 ③上段の表の上の段落の名称が「特定健康診査周知」となっていますが、この上段自体が特定健康診査という事業に関する記載であることから、この名称は「周知」のみで十分と考えます（下段の表の「利用促進」と同様）。また、この周知に関する「取組」の記載中、「受診券の送付と併せて、未受診者に対してははがきによる再勧奨を行う」とありますが、下線部の「併せて」は「同時に、一緒に」という意味なので、この使用法は不適切と考えます（受診券の送付と再勧奨は同時ではないため）。そこで、「受診券の送付と併せて」に替えて「受診券を送付するだけでなく」としてはいかがでしょうか。 ④上段の表「医療機関との連携」及び下段の表「実施後の継続支援」の「取組」の文章中、「できる様」という記載がありますが「できるよう」が適切と考えます。「様」を漢字一文字で使用するのは「様（さま）になる」という場合で、「よう」の場合はひらがなで記載するのが通常です。	①わかりやすい表記とするため、文頭に「以下は、」を追加します。 ②ご指摘のとおり、「業務」に修正します。 ③ご指摘のとおり、「周知」に修正します。また、適切な表現とするため「 <u>受診券を送付するだけでなく</u> 」に修正します。 ④ご指摘のとおり、「よう」に修正します。	有
65	101	(2)計画の見直し 本文が「計画の見直しについては、毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて見直しを行うものとします。」とありますが、表題が「計画の見直し」としながら、本文中でも「見直し」が2回出てきます。そこで、少し整理して「毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。」としてはどうでしょうか。	わかりやすい表記とするため、「 <u>毎年度目標の達成状況を評価し、必要に応じて計画の見直しを行うものとします。</u> 」に修正します。	有
66	101	4.他の検（健）診との連携 本文が「特定健康診査の実施に当たっては、がん検診等他の関連する検（健）診と可能な限り連携して実施するものとします。」とありますが、下線部が「実施に当たっては、〇〇〇実施するものとします。」となっており、くどい言い回しになっています。また、「連携する」のは実施主体どうしの場合であって、検（健）診は客体であることから「連携する」とストロートには言えないと思います。これらのことを踏まえ、さらに文字の順序を入れ替えて、「特定健康診査の実施に当たっては、可能な限りがん検診等関連する他の検（健）診との連携を図り行うものとします。」としてはどうでしょうか。	ご指摘のとおり、「 <u>可能な限りがん検診等関連する他の検（健）診との連携を図り行うものとします。</u> 」に修正します。	有
67	105	「標準化死亡比」の説明として、ウイキペディアの文章を引用しているようですが、分かりにくい（特に、「期待される死亡数」の意味）うえに、細かいことですが、一部誤りを含んでいます。そこで、「国立がん研究センターの用語集」と「ウイキペディアの文章」の両方を引用して、以下のように記載してはどうでしょうか。 人口構成の違いを除去して死亡率を比較するための指標。ある集団の死亡率が、基準となる集団と比べてどのくらい高いかを示す比と理解することができる。ある集団で実際に観察された死亡数が、もしその集団の死亡率が基準となる集団の死亡率（通例全国値を使用）と同じだった場合に予想される死亡数（期待死亡数）と比較してどうかというものである。標準化死亡比が全国値100より大きい場合は全国平均より死亡率が高く、100より小さい場合は死亡率が低いことを意味する。	「標準化死亡比」の説明は、厚生労働省ホームページより引用しています。わかりやすい表記とするため、「 <u>標準化死亡比</u> 」の説明を「 <u>年齢構成が異なる地域間において、死亡状況を比較することが可能になる指標。標準化死亡比が全国値100より大きい場合は全国平均より死亡率が高く、100より小さい場合は死亡率が低いことを意味する。</u> 」に修正します。	有